



福岡医発第 409 号 (地)

平成 25 年 5 月 1 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会長 松 田 峻 一 良

(公 印 省 略)

HbA1c 検査の表記変更、及び糖尿病治療における
HbA1c の血糖コントロール目標の改訂に関する啓発資料について

HbA1c 検査の国際標準化に伴う表記の変更につきましては、従来より通知等で情報提供しておりますところですが、本年 4 月より特定健康診査等においても同検査結果の表記が NGSP 値表記に統一されたことを受けて、今般、日本医師会を通して日本糖尿病学会より、周知の徹底を図ることを目的とした啓発資料を別添の通り作成中との情報提供がありましたのでご連絡申し上げます。

なお、

- 1) 同学会では、これまで使用されてきた糖尿病治療における血糖コントロール目標を平成 25 年 6 月 1 日施行予定として改定することとしており、本件についても併せて示されております。
- 2) 本資料については、今後、日本糖尿病学会ホームページ (<http://www.jds.or.jp/>) に掲載されるとともに、医療機関等へ直接配布される予定であります。

小郡三井医師会より

地域保健担当理事 白石恒明
会長 蒲池 壽

(地Ⅲ24)

平成25年4月23日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会常任理事

道 永 麻



HbA1c検査の表記変更、及び糖尿病治療における
HbA1cの血糖コントロール目標の改訂に関する啓発資料について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、HbA1c検査の国際標準化に伴う表記の変更につきましては、従来より通知等で情報提供させていただいております。

本年4月からは特定健康診査等においても同検査結果の表記がNGSP値表記に統一されたことを受け、今般、日本糖尿病学会より、周知の徹底を図ることを目的として、添付の啓発資料を作成中との情報提供がありましたので、ご連絡申し上げます。

なお、同学会では、これまで使用されてきた糖尿病治療における血糖コントロール目標を平成25年6月1日施行予定として改訂することとしており、本件についても合わせて示されております。

本資料については、今後、日本糖尿病学会ホームページ(<http://www.jds.or.jp/>)に掲載されるとともに、医療機関等へ直接配布される予定であります。

つきましては、本会としても日医ニュース等で今後、周知に努めてまいりますが、貴会におかれましても本件についてご承知いただきますとともに、貴会管下郡市区医師会、関係会員等への周知方ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

医療機関の
皆様へ

①医療機関向け A 2 ポスター

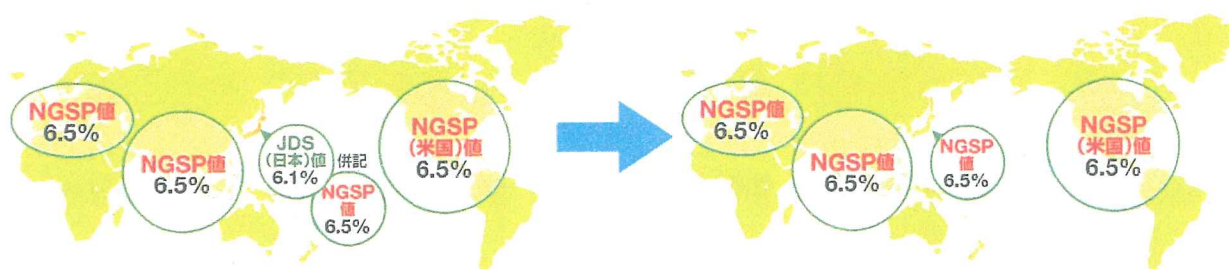
国際標準化に伴い、

ヘモグロビン・エイワンシー

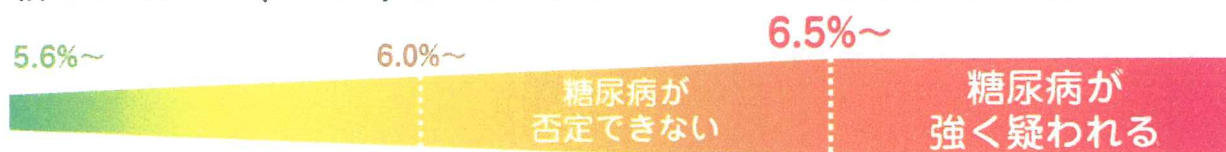
HbA1cの表記統一を お願いします。

今までJDS値とNGSP値の併記だったHbA1cを
2014年4月1日までに
NGSP値のみの表記に統一してください。

HbA1cには国際的に広く使用されているHbA1c(NGSP)と、
日本でこれまで使用されてきたHbA1c(JDS)があります。
今まで併記してきましたが、
今後は日本でもHbA1c(NGSP)に統一することになりました。



新しいHbA1c(NGSP)値が6.5%以上の場合は、糖尿病が強く疑われます。



糖尿病

診断と管理の指標に関するリーフレット

2013年4月1日から
国際標準化に伴い

ヘモグロビン・エイワンシー

HbA1c

の表記が統一されます。

監修 日本糖尿病対策推進会議

お問い合わせ先

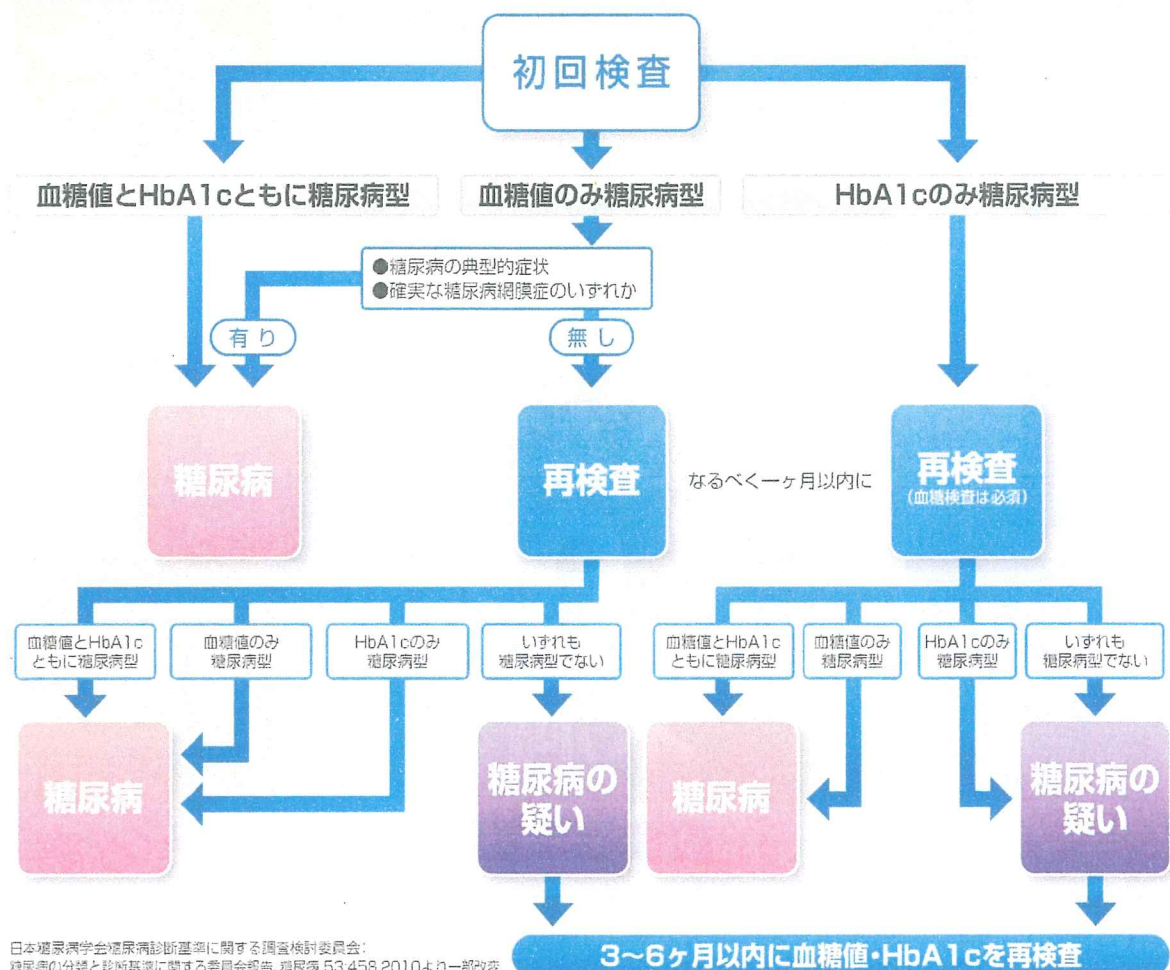
日本糖尿病学会 ▶ <http://www.jds.or.jp/>

日本糖尿病協会 ▶ <http://www.nittokyo.or.jp/>

糖尿病の臨床診断のフローチャート

糖尿病型

血糖値(空腹時 $\geq 126\text{mg/dL}$ 、OGTT2時間 $\geq 200\text{mg/dL}$ 、
随時 $\geq 200\text{mg/dL}$ のいずれか)
HbA1c(NGSP:世界標準の数値) $\geq 6.5\%$
[HbA1c(JDS:日本でこれまで使われてきた数値) $\geq 6.1\%$]



日本糖尿病学会糖尿病診断基準に関する調査検討委員会:
糖尿病の分類と診断基準に関する委員会報告、糖尿病 53 458 2010より一部改変

糖尿病型と血糖値の判定区分

糖尿病型の定義

【血糖値】

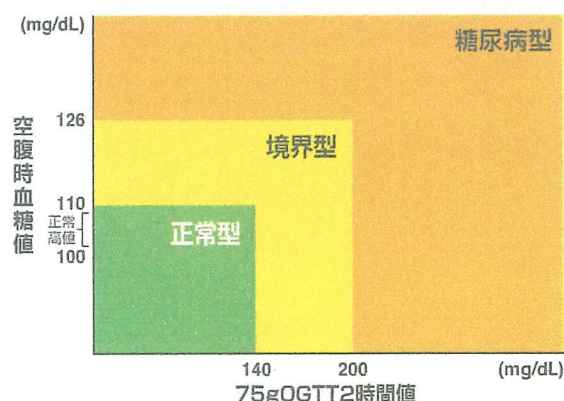
- ① 空腹時血糖値 $\geq 126\text{mg/dl}$
- ② 75g経口糖負荷試験(OGTT)2時間値 $\geq 200\text{mg/dl}$
- ③ 随時血糖値 $\geq 200\text{mg/dl}$

【HbA1c】*

- ④ HbA1c(NGSP) $\geq 6.5\%$
[HbA1c(JDS) $\geq 6.1\%$]

*HbA1cには、国際的に広く使用されているNGSP値で表記されたHbA1c(NGSP)と、日本でこれまで使用されてきたJDS値で表記されたHbA1c(JDS)があり、およそ0.4%異なる。2013年4月より特定健診等ではNGSP値のみが使用される。日常臨床においても、2014年3月までにNGSP単独表記となる。

血糖値の判定区分



血糖コントロール目標

NGSP値に統一

血糖正常化を目指す際の目標

適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。

合併症予防のための目標

合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。対応する血糖値としては、空腹時血糖値130mg/dL未満、食後2時間血糖値180mg/dL未満をおおよその目安とする。

治療強化が困難な際の目標

※低血糖などの副作用、その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。

HbA1c
6.0%
未満

HbA1c
7.0%
未満

HbA1c
8.0%
未満

コントロール目標値

治療目標は年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して、個別に設定します。いずれも成人に対する目標値であり、また妊娠中は除くものとします。

※HbA1cの目標値は、2013年6月1日から変更となります。以前のHbA1c(JDS)の数値と比較するときは、0.4%引いて考えてください。

③患者様向け二つ折リーフレット

ご来院の皆様へ

国際標準化に伴い

ヘモグロビン・エイワン シー

HbA1c

の表記が
統一されます。

監修 | 日本糖尿病対策推進会議

お問い合わせ先

日本糖尿病学会 ▶ <http://www.jds.or.jp/>

日本糖尿病協会 ▶ <http://www.nittokyo.or.jp/>



日本糖尿病対策推進会議

国際標準化に伴い ヘモグロビン・エ イ ワ ン シ ー

2013年 4月1日から **HbA1c** の表記が **NGSP値に統一**されます。

※2013年4月より特定健診等ではNGSP値のみが使用されます。また日常臨床においても、2014年3月までにNGSP単独表記となります。

合併症
予防のための
HbA1c目標値
(NGSP)

7.0%未満

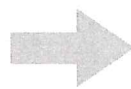
治療目標は、患者さんの状態によっては、7.0%よりも低い場合も、高い場合もあり得ます。
主治医の指示に従ってください。

HbA1cの目標値は2013年6月1日から変更となります。以前のHbA1c(JDS)の数値と
比較するときは、0.4%引いて考えてください。

NGSP値とJDS値が併記されていた場合も統一されます。

これまで

例えば	NGSP値	併記
	7.0%	
	JDS値	
6.6%		



2013年4月1日から

NGSP値
7.0%
NGSP値のみの表記へ

④初診患者様向け二つ折リーフレット

初めて糖尿病治療を受けられる方へ

ヘモグロビン・エイワン シー

現在 **HbA1c**
の表記には
NGSP値が
使われています。

監修 | 日本糖尿病対策推進会議

お問い合わせ先

日本糖尿病学会 ▶ <http://www.jds.or.jp/>

日本糖尿病協会 ▶ <http://www.nittokyo.or.jp/>

日本糖尿病対策推進会議

ヘモグロビン・エイワン シー

現在 HbA1c の表記には NGSP 値が使われています。

糖尿病は慢性的に血糖値が高くなる病気です。HbA1c はヘモグロビン・エイワンシーと読み、過去1～2ヵ月間の血糖値の平均を反映し、糖尿病の診断にも使われます。

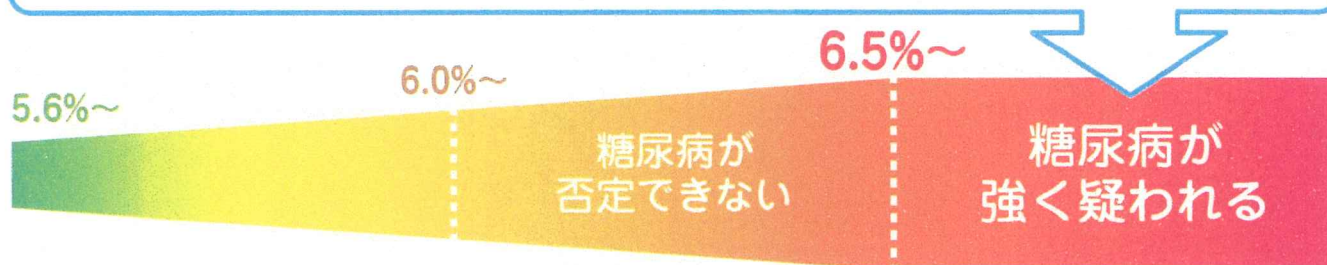
これまでは、国際的に広く使用されている HbA1c (NGSP) と、日本でこれまで使用されてきた HbA1c (JDS) が併記されてきましたが、今後は日本でも、HbA1c (NGSP) に統一されます。

HbA1c の NGSP 値は
これまでの表記 (JDS 値) から、

およそ **0.4%**
高くなります。

以前の HbA1c の数値と比較するときは、0.4% 引いて考えてください。

新しい HbA1c (NGSP) 値が **6.5% 以上** の場合は、糖尿病が強く疑われます。



健診受診者の方へ

ヘモグロビン・エイワンシー

HbA1cとは…

糖尿病は慢性的に血糖値が高くなる病気です。
HbA1cはヘモグロビン・エイワンシーと読み、
過去1～2ヵ月間の血糖値の平均を反映し、
糖尿病の診断にも使われます。

HbA1c値が6.5%以上の場合は、糖尿病が強く疑われます。



特定健診や事業主健診では、2013年4月から新しいHbA1c(NGSP)が使われます。

昨年まで使われていたHbA1c(JDS)とは、およそ0.4%違うので、ご注意ください。

これまで：JDS値

2013年4月以降：NGSP値

例えば **6.1%** $\xrightarrow{+0.4\%}$ **6.5%**